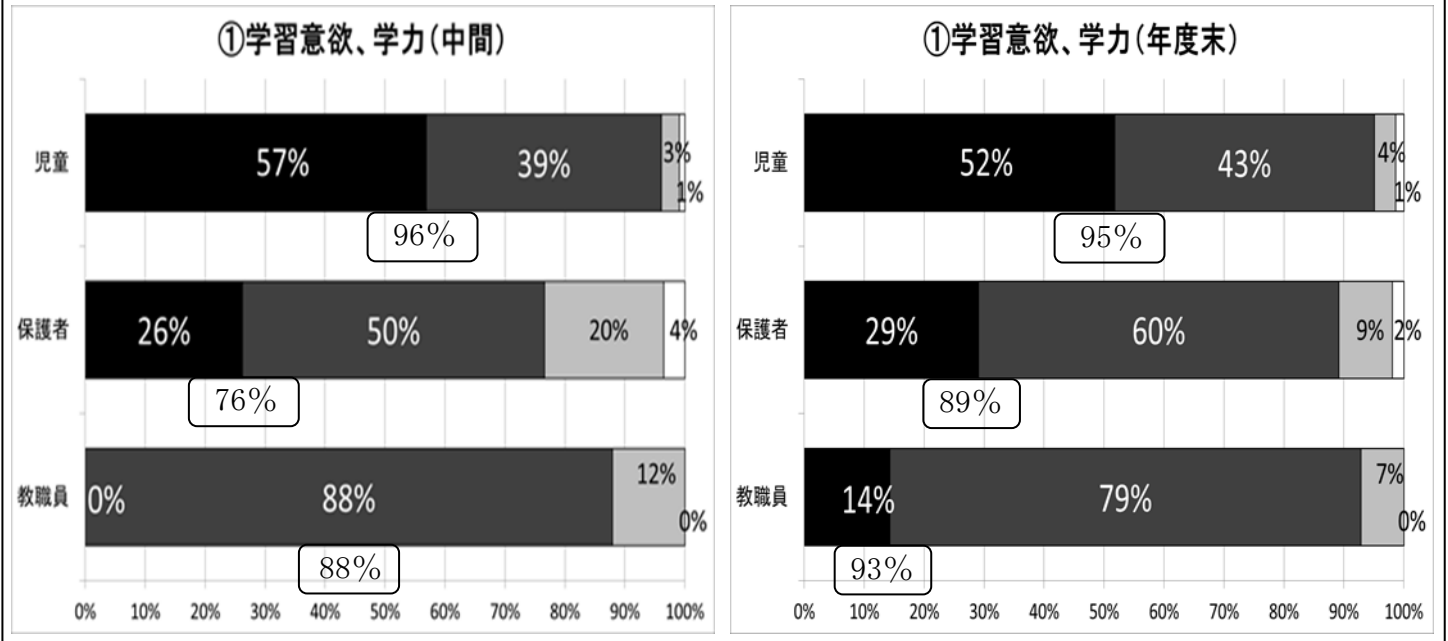


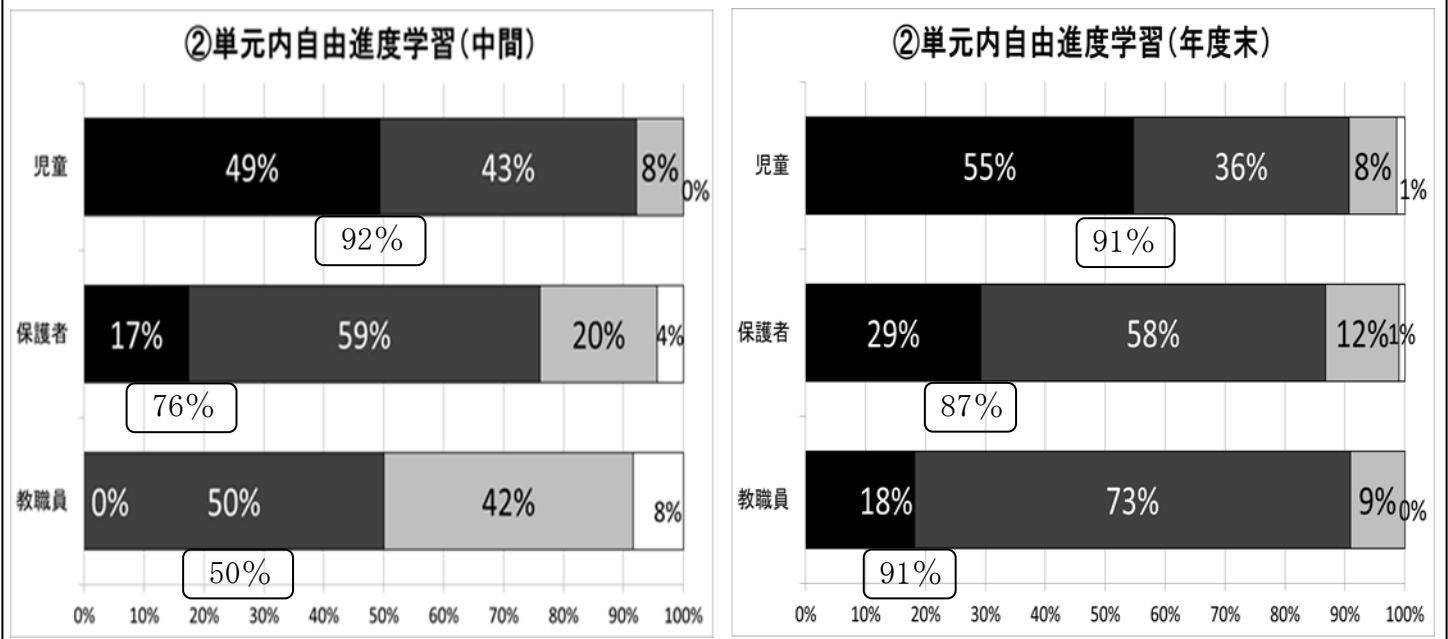
1 令和6年度中間(9月)と年度末(1月)の児童・保護者・教職員の自己評価結果一覧

■よくあてはまる ■あてはまる □あてはまらない □まったくあてはまらない ○○% …「よくあてはまる」「あてはまる」を合計した数値

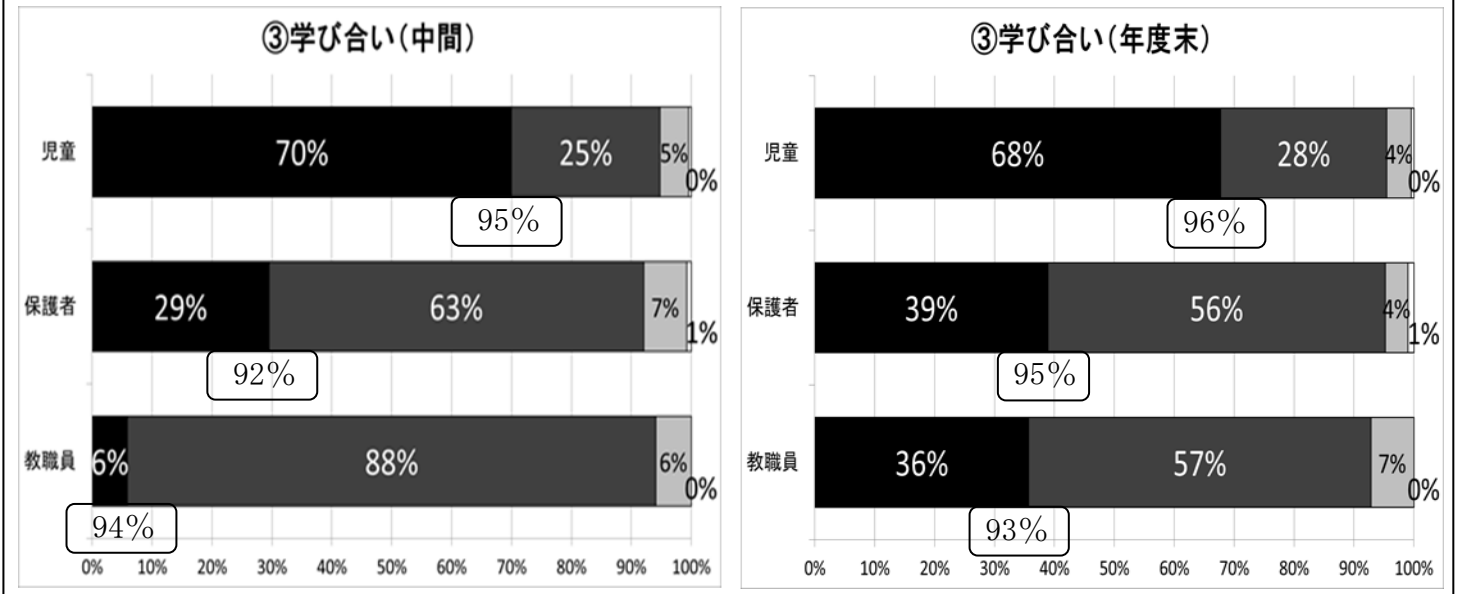
質問項目① 児童は、意欲をもって学習に取り組み、学力を伸ばすことができている。



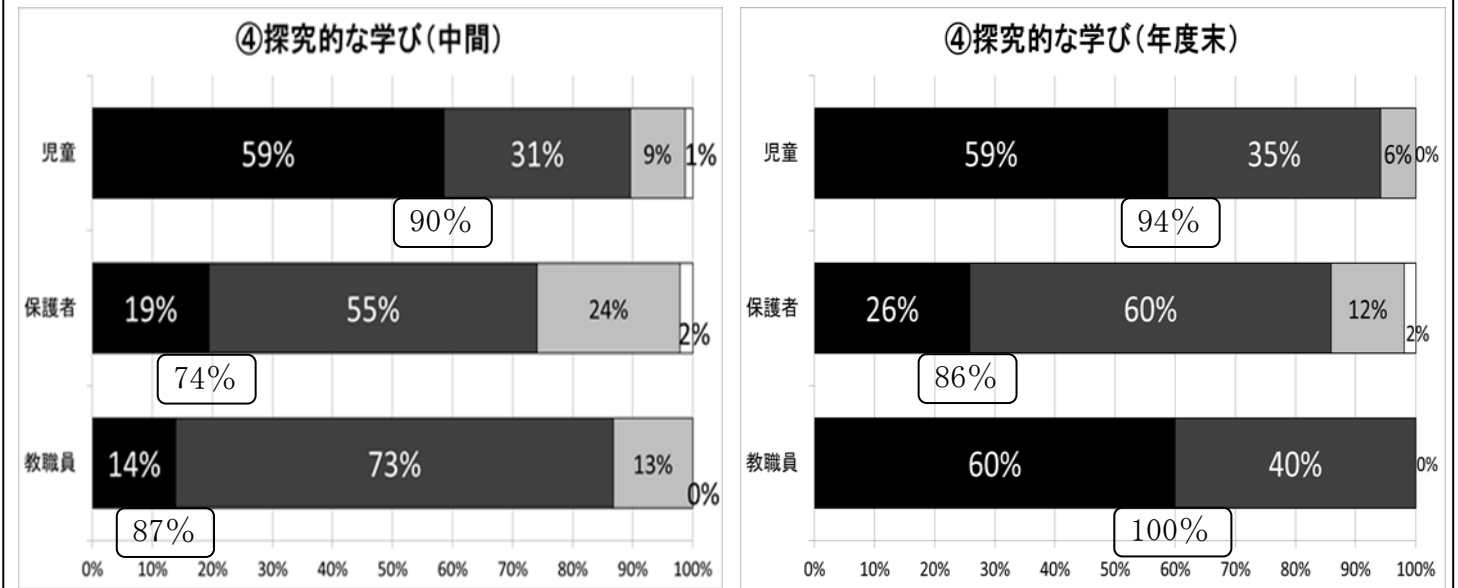
質問項目② 児童は、単元内自由進度学習において、自分のペースや方法を選んで学ぶことができている。



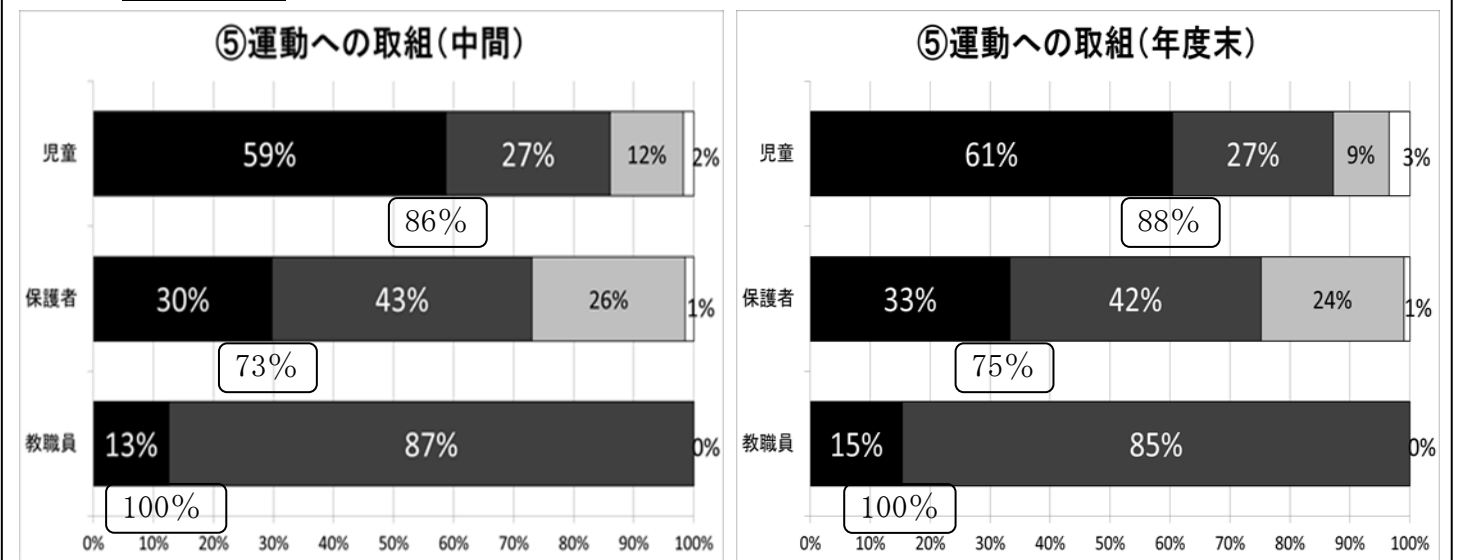
質問項目③ 児童は、対話を通して、友達と学び合っている。



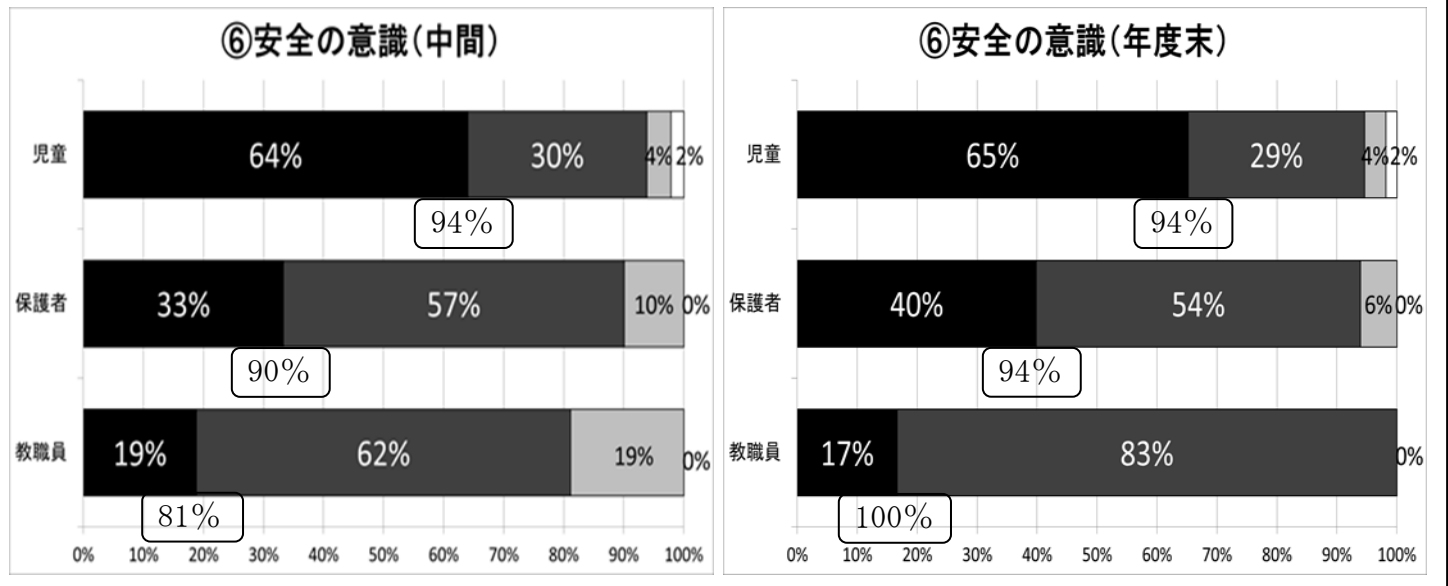
質問項目④ 児童は、生活科や総合的な学習の時間において、学習したいことについて夢中で探究することができる。



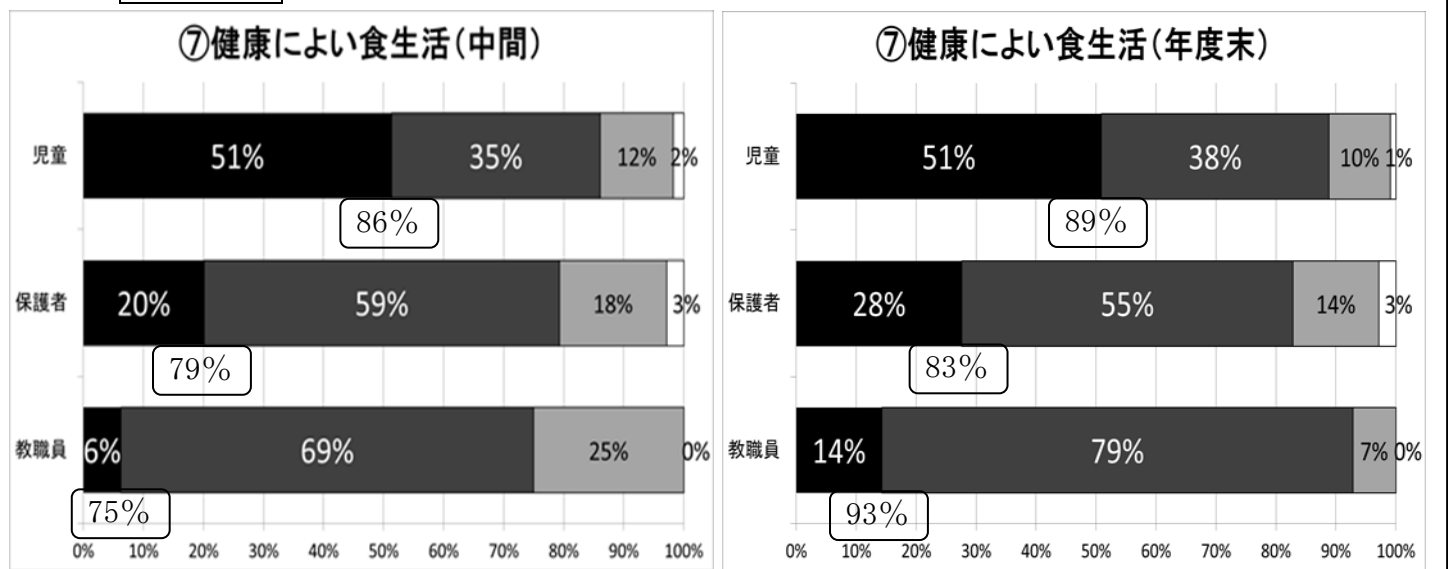
質問項目⑤ 児童は、運動に関心をもち、進んで運動に取り組むことができる。



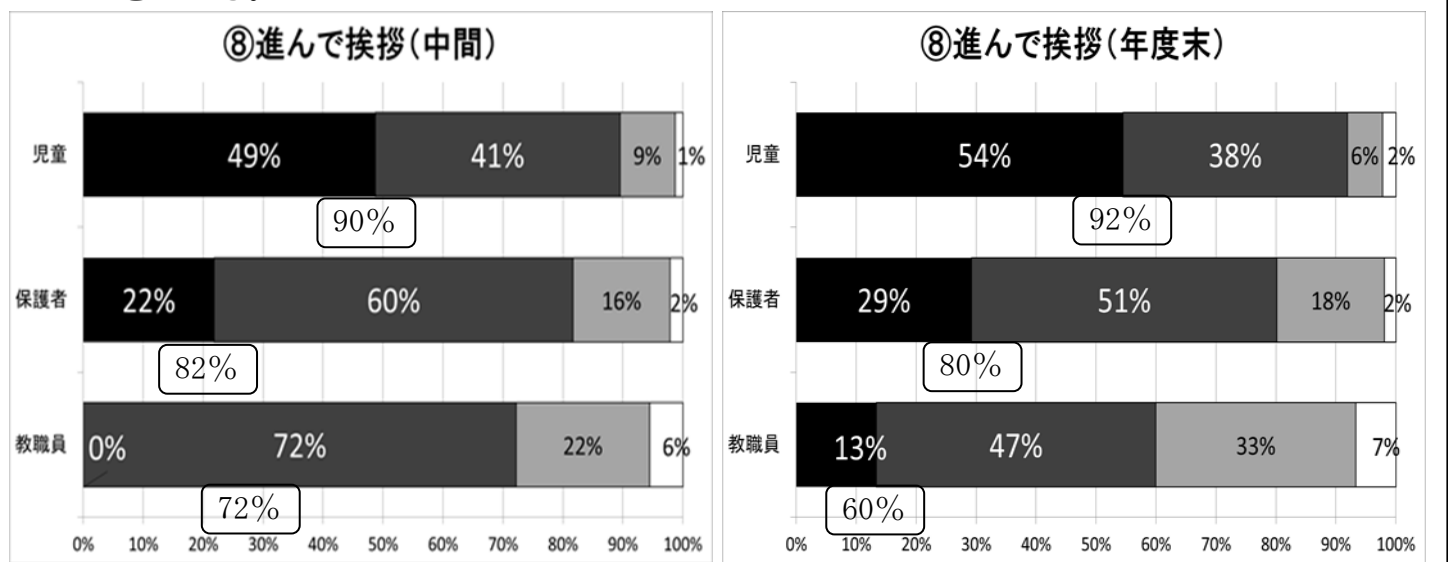
質問項目⑥ 児童は、防犯や防災等、安全に対する意識をもって、生活することができている。



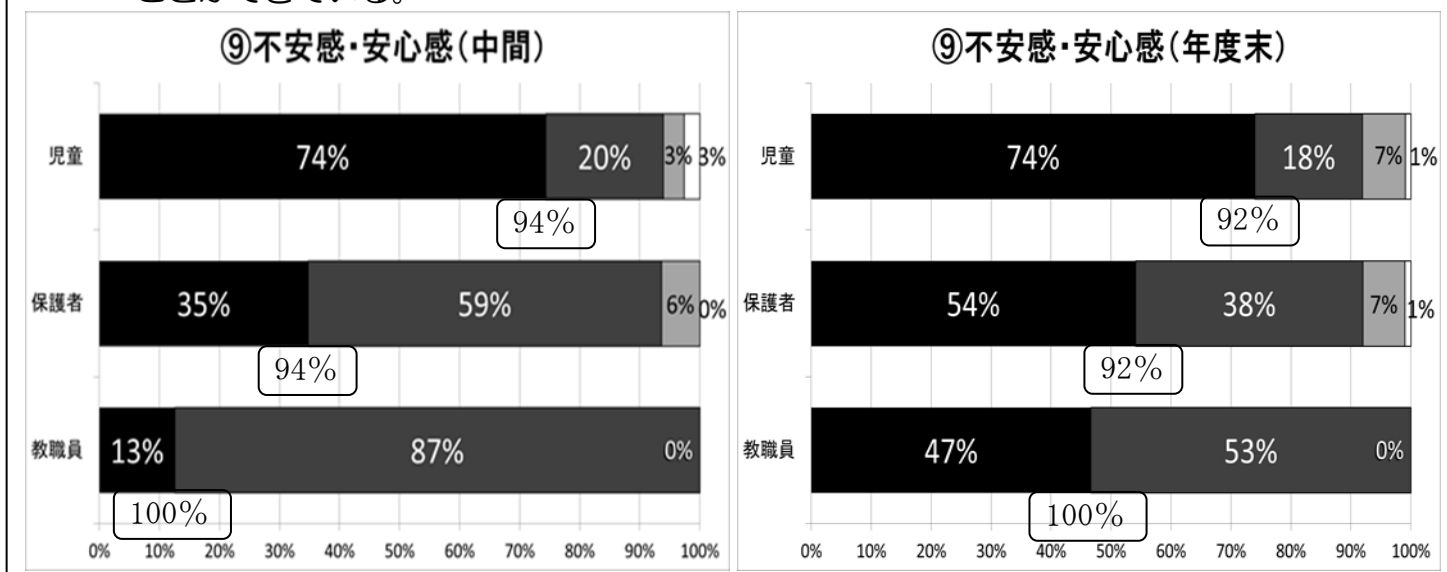
質問項目⑦ 児童は、健康によい食生活を意識して過ごすことができている。



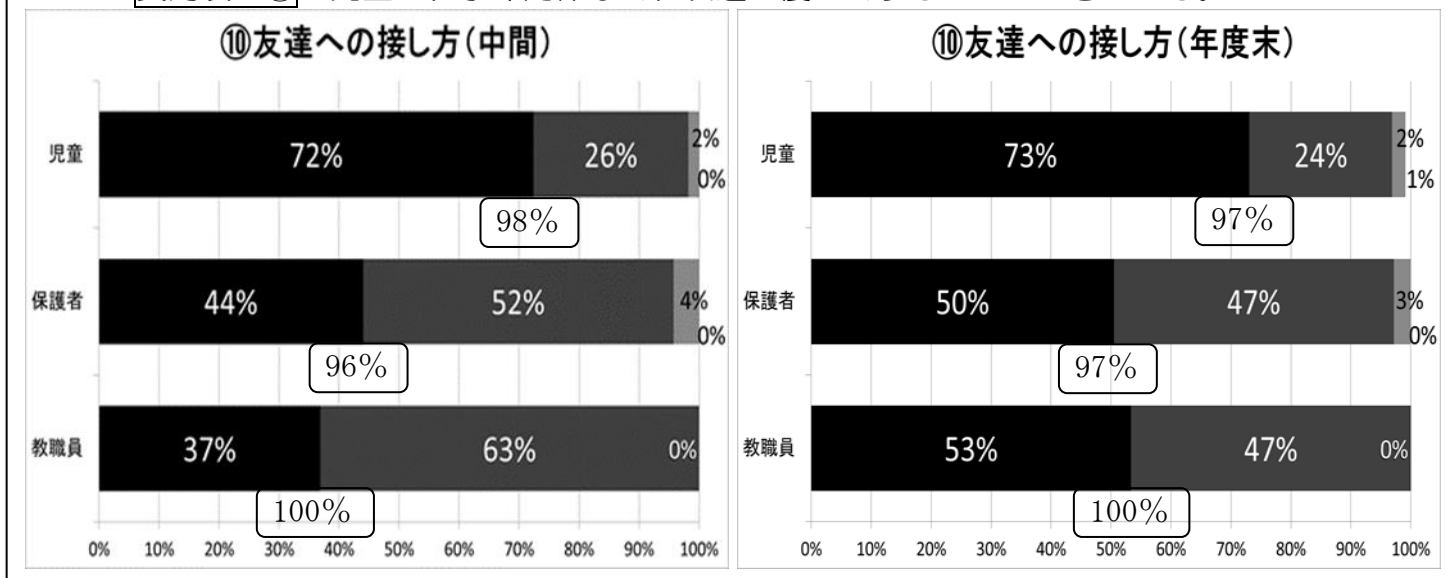
質問項目⑧ 児童は、先生・友達・家の人・学区の人・来校者に「進んで挨拶」ができている。



質問項目⑨ 児童は、不安な気持ちのままにいたることなく、安心して学校で生活することができている。



質問項目⑩ 児童は、学年関係なく、友達に優しくすることができている。



## 2 保護者からの主なご意見・ご要望

- 毎日楽しそうに学校へ通っています。安心して過ごせる場所にしていただきありがとうございます。
- 大勢いる子どもたちの一人なのに、いろいろな先生方に声を掛けていただいて感謝しています。今は学校で楽しいことも増えたようで、安心につながっているようです。
- 授業参観が1日開放で見たい。名古屋は決まった時間でしか見れないから色々な様子が分かりません。  
→現時点では、安全上の管理のため限られた時間帯でと考えております。
- 授業参観日を休日・祝日連休に付けるのはやめていただきたいです。仕事場への申請(休暇届・早退等)に頭を悩ませます。  
→時期によっては、授業参観日が休日や祝日の前後となってしまうことがございます。ご了承いただければと思います。

- 中学校からなのか、小学校からなのか、区別しやすいので、メールの件名に「正保小学校」と入れてほしいです。

→今後、件名に「正保小学校」と入れるようにしてまいります。

貴重なご意見をありがとうございました。引き続き、保護者の皆様と協力しながら教育活動を行っていきたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

### 3 令和6年度の結果及び令和7年度の方向性

- ①「学習意欲、学力」については、児童・教職員の9割以上が「よくあてはまる」「あてはまる」としています。しかし、保護者が89%と上がってきてはいるが、児童・教職員と比べると低いです。授業参観だけではなく、児童の学習意欲、学力の成長が分かるように学年だよりや学校だよりで伝えていくようにします。
- ②「単元内自由進度学習」については、児童・教職員の9割以上が「よくあてはまる」「あてはまる」となっています。しかし、保護者が87%と上がってきてはいるが、児童・教職員と比べると低いです。まず今年度の実践の課題について、明確につかむようにしていき、その上で、自由進度学習がどういったものなのかを伝えていけるようにします。
- ③「学び合い」については、児童・保護者・教職員全てにおいて9割以上が「よくあてはまる」「あてはまる」となっています。概ねできていると考えます。
- ④「探究的な学び」については、児童・教職員の9割以上が「よくあてはまる」「あてはまる」となっています。保護者が86%と上がってきているのは、学習発表会を行った効果が大きいと考えています。単元内自由進度学習と同様に、まず今年度の実践の課題について、つかむようにしていくようにします。その上で探究的な学びとしてどういった活動を行っているのかを学校だより等で伝えていくようにします。
- ⑤「運動への取組」については、児童・保護者において9割に達していません。計画を立て、継続して行うことで、児童が運動の楽しさや意義を実感できるようにしていきます。また、健康や体力向上の必要性も伝える必要があると考えています。
- ⑥「安全への意識」については、児童・保護者・教職員全てにおいて9割以上が「よくあてはまる」「あてはまる」となっています。概ねできていると考えます。
- ⑦「健康によい食生活」においては、児童・保護者において9割に達していない。今後、どのようにしていったらよいか検討していきたいと思います。
- ⑧「進んで挨拶」については、教職員の4割が「あてはまらない」「まったくあてはまらない」と回答しています。朝の通用門での挨拶だけではなく、一日を通して進んで挨拶ができるようにしていきたいです。そのためには日常的にまずは大人が挨拶する姿を示すとともに、日頃から各学級で指導を工夫していく必要があると思います。
- ⑨「不安感・安心感」については、児童・保護者・教職員全てで9割以上となっています。しかし、もっと個別での子どもの不安やヘルプに気付き、耳を傾けていきたいと考えています。そして今後も児童が安心できる支援を継続し、保護者から信頼されるようにしていきたいです。
- ⑩「友達への接し方」については、児童・保護者・教職員全てで9割以上となっています。今後も友達に優しくできる温かい雰囲気になるように指導を継続していきます。